

2021年10月28日



各 位

会 社 名 ローム株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員
 C E O 松本 功
 (コード：6963、東証第一部)
 問合せ先責任者 広報 IR 室室長 永吉 秀成
 (TEL. 075-311-2121)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月10日に公表しました2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 210,000	百万円 31,000	百万円 29,000	百万円 20,500	円 銭 208.90
実 績 値 (B)	222,657	34,513	37,863	30,802	313.87
増 減 額 (B - A)	12,657	3,513	8,863	10,302	-
増 減 率 (%)	6.0	11.3	30.6	50.3	-
(参考)前第2四半期(累計)実績 (2021年3月期)	168,049	12,687	11,799	12,527	127.36

2. 差異の理由

2022年3月期第2四半期累計期間において、自動車関連市場向けは概ね想定通りでしたが、感染症対策としてのステイホームやテレワークなどライフスタイルの変化により家電や事務機など民生機器関連市場向けの需要が想定より好調に推移したことに加え、エレクトロニクス市場の回復が続いたことなどにより産業機器関連市場向けも想定以上に売上を伸ばしました。以上の結果、売上は2021年5月10日時点の予想を上回りました。

営業利益については、売上増加により限界利益が増加したことや為替レートが想定より円安に推移したことに加え、減価償却費や研究開発費などが計画値以下に抑えられたことにより公表計画値を上回りました。

経常利益については、期末レートが想定より円安となったことによる為替差益の発生等により、公表計画値を大幅に上回りました。

また、特別損益は公表計画値から大きな差異は発生しませんでした。さらに法人税等についても経常利益が大きく増加したことで課税所得が増加した一方、過去支払い済みの二重課税が当期に解消されたことで課税所得が減額され税率が想定より低く抑えられたことにより、公表計画値から大きな差異は発生しませんでした。そのため親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益の増加が公表計画値を上回ることになる主要因となりました。

<2022年3月期上半期 為替レート> (円/US\$)

想定レート:105.82円

実績レート:期中平均レート 110.18円、期末レート 111.92円

以 上